

NOP NEWS

ノッブ

2016年初春号

21

ニュー・オペラ・プロダクション

〒168-0064 東京都杉並区永福 3-20-3 TEL: 03-3328-0817 FAX: 03-3328-0655
e-mail newopera@jcom.home.ne.jp URL http://members.jcom.home.ne.jp/newopera

明けまして、おめでとうございます。

世界平和の永続を願う者として、また、前大戦を実際に体験した者として、第二次世界大戦前夜に似た昨今の世情に不安感、警戒感を募らさずにはいられません。今、私達が黙って、この状況を見逃せば、再び軍国主義化することを黙認したこととなり、私達の子孫に大きな不幸をもたらすことになりはしないか、と真剣に考えないわけには行きません。

また、昨年末、発表されたOECD（経済協力開発機構）の2012年度の加盟各国の国内総生産（GDP）に占める教育機関への公的支出の割合は、日本は3.5%で32ヶ国中、スロバキアと並んで最下位だった、と新聞で報道されていましたが、このことは我々が文化国家を自称するなら、もっともっと重大に考えられなければならないことではないでしょうか。音楽教育、オペラ振興に繋がる文化活動に骨身を削っている者には、一日も早く、芸術文化振興の大事さの分かる目覚めた有能な行政者の出現が望まれます。しかし、これも、何もせずに、ただ見守り続けるだけで、いいものでしょうか。

今年も大きな無理をせずに、自分の力相応に可能な企画を練り、実現に向けて努力して行くつもりですので、どうか引き続き、皆様のご声援をお願い申し上げます。

代表 杉 理一

NOP創立25周年記念 第2回ワンスモア・コンサート

昨年はニュー・オペラ・プロダクションを設立して丁度25年になりましたので、その記念事業の一つとして、オペラ公演を開催しなかったのですが、残念ながら、体力的、資金的に無理と分かったので、せめて、と思い、50回まで続けて来たNOP（ノッブ）コンサートの第1回に次ぐ第2回ワンスモア・コンサートを10月18日、銀座十字屋ホールで開催しました。文化庁若手オペラ人材育成事業「地域歌手」に選出された新星、ソプラノ矢野美由紀さん（西宮市在住）とテノール西影星二さん（名古屋大学医学部6年生）、それに中堅実力派として活躍中のメゾ・ソプラノの愛甲久美さん、バリトンの青山貴さんの4人が石野真穂さんのピアノ伴奏で、歌曲とオペラのアリアと重唱を演技まじりで歌って楽しさを盛り上げ、満員のお客様の拍手喝采を浴びました。



左から石野真穂、愛甲久美、矢野美由紀、西影星二、青山 貴

ニューオペラ・プロダクション創立25周年記念
NOPワンスモア・コンサート第2回
Soprano 矢野美由紀 Tenor 西影星二
Mezzo 愛甲久美 Baritone 青山 貴

5時開演
歌謡
美しい夕べ
（作曲：小島健一）
セレナータ
（作曲：モーツァルト）
アレルヤ
（作曲：モーツァルト）

6時開演
オペラ
「フェリスシアの嘆息」
（作曲：モーツァルト）
「あなたの手は心は深く」
（作曲：モーツァルト）
「無常なる神の祈るまに」
（作曲：モーツァルト）
「愛の心は深く」
（作曲：モーツァルト）
「美しい夕べ」
（作曲：小島健一）
「アレルヤ」
（作曲：モーツァルト）

2015年
10月18日(日)
午後6時開演 午後8時開演
銀座十字屋ホール

全席自由4000円
チケットは、ニュー・オペラ・プロダクション
TEL: 03-3328-0817 FAX: 03-3328-0655
http://members.jcom.home.ne.jp/newopera

NEW OPERA

コンサートのチラシ

ニュー・オペラ・プロダクション創立25周年記念 ご支援感謝パーティ・コンサート

「愛の歌、愛のARIA コンサート」を11月23日、紀尾井町サロン・ホールで開催しました。NOPは定期的なオペラ、コンサートを停止した2014年以降、年会費を頂戴するのが申し訳ないので、後援会、友の会を閉じましたが、永年に亘り、NOPの活動を支援し続けて来て下さった方々と、ほんのひとときながら、音楽を楽しむ交歓のひとときをご一緒に過ごしたいと思い、ささやかなコンサートとそれに引き続くティーパーティを企画しました。幸い、杉オペラ演技研究所で勉強した研究員の皆さんの協力が得られ、更に、新進テノールの土崎譲さん、バリトンの藤澤真理さんが賛助出演の予定でしたが、本番直前、藤澤さんが病に倒れ、ヴェテランの杉野正隆さんがピンチヒッターを引き受けてくれました。ピアノはワンスモア・コンサートに引き続き石野真穂さんという陣容で、なごやかな楽しいティーパーティコンサートとなり、ご来会の皆様に大変喜んでいただくことが出来ました。



パーティ・コンサートのチラシ



杉野正隆、太田愛、安達祐子、金久朋未、杉友理乃、今仲敬子、私、山越亨子、高橋知子、石野真穂、廣田美穂、土崎譲

パーティ・コンサートを終えた出演者の皆さんとの記念写真。中央の女の子は孫の友理乃（9歳）、飛び入りで「金婚式」をピアノ演奏しました。

NOPオペラ・ビデオ鑑賞会講座シリーズ 第6回、第7回好評裡に終了、第8回準備中

オペラの面白さを少しでも多くの方に知っていただこうと、私のお喋りと映像をまじえたオペラ・ビデオ鑑賞会も2012年の秋以来、その後、春と秋に、もう一回、もう一回と続けて、昨年は第6シリーズと第7シリーズを東京文化会館の会議室で開催しました。幸い、東京文化会館の係の方が主旨を理解され、親切に会場確保に協力して下さいました。受講された方から、更に続けるようにとのご要望もあり、今年春に第8シリーズを開催しようかと、目下、頂戴したアンケート内容を検討してプランを作成中です。ご関心のある方は、どうぞ、お申し出下さい。ご参考までに昨年の第6回、第7回の講座内容をご覧ください。

第6シリーズ

- 第1回講座 第2回 NHK イタリア歌劇公演「カルメン」ハイライト
- 第2回講座 第8回 NHK イタリア歌劇公演「アドリアーナ・ルクヴルール」ハイライト
- 第3回講座 1979年ミラノ・スカラ座公演「ボエーム」ハイライト
- 第4回講座 第3回 NHK イタリア歌劇公演「アイダ」ハイライト

第7シリーズ

- 第1回講座 1981年ミラノ・スカラ座来日公演「オテロ」ハイライト
- 第2回講座 1981年ミラノ・スカラ座来日公演「セビリアの理髪師」ハイライト
- 第3回講座 1980年ベルリン国立歌劇場来日公演他 様々な「魔笛」ハイライト
- 第4回講座 1979年ウィーン・フォルクスオパー来日公演「こうもり」ハイライト



講座風景

グランシップ音楽の広場2015 字幕監修

2013年、14年に続き昨年も静岡の「グランシップ音楽の広場2015」が開催され、プログラム中のオペラ・アリアの字幕監修を依頼されました。8月2日の公演には残念ながら所用があったので、前日の総稽古（ゲネプロ）に立ち会ってきました。

「3000人で創る真夏の音楽祭」と銘打つだけあって、今年の公演もオーケストラ、合唱、ダンスが一体となり、会場のお客さんも巻き込むことを予想させる迫力ある華やかな音楽会でした。殊に、戦後70年の節目の年でもあったので、「未来へ」をテーマに、クラシックからポップスまで、多彩な名曲の数々が演奏されました。指揮は広上淳一、歌手はソプラノ腰越満美、テノール佐野成宏、ヴァイオリン・ソロ徳永二男、大谷康子、特別ゲストには懐かしいジェリー藤尾の皆さんが出演しました。

実は、この音楽会は名前の「音楽の広場」からもお分かりの通り、嘗てNHKで放送されていた芥川也寸志さん、黒柳徹子さん司会の洋楽番組「音楽の広場」から取られた名前です。その時の担当ディレクター渡壁輝君が、静岡での音楽会の演出、音楽監督を務めているのです。私もNHK在職中、何回か、交替で「音楽の広場」を担当したものでした。



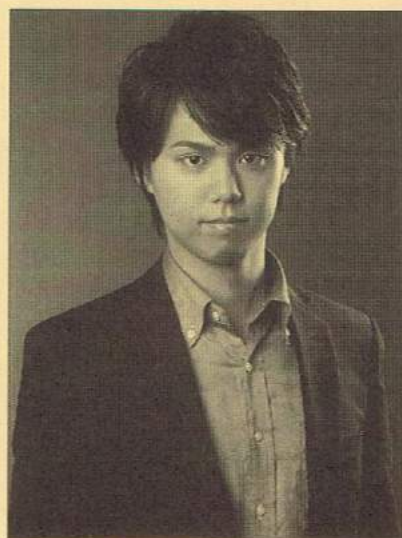
「静岡グランシップ音楽の広場 2015」会場風景



チラシ

文化庁若手オペラ人材育成事業「地域歌手」に NOPが推薦した歌手が2年連続合格

昨年度は当プロダクションが神戸で上演した「末摘花」で主役を演じた矢野美由紀さんを推薦、みごとオーディションに合格して、新国立劇場の大ホールでオーケストラ伴奏により「ドン・パスクワレ」のアリアを歌い満場の拍手を浴びましたので、第1頁にも掲載しましたように、当プロダクションの第2回ワンスモア・コンサートにも出演して貰いました。今回も地方で活躍する歌手の推薦を、昭和音楽大学を通じ依頼がありましたので、2014年に、やはり「末摘花」上演の依頼を受けた和歌山市民オペラ協会が大変優秀な歌手を傘下に集め、優れた公演を続けているのを知り、その会長の多田佳世子さんに相談したところ、関西二期会所属のバリトン、鳥山浩詩君の存在を知りました。早速、彼から略歴と共に、オペラ・アリアを歌ったDVDを送って貰い、そのみごとな歌いぶりを知り、「地域歌手」に推薦、オーディションを受けさせたところ、今回もまた、何人かの受験者の中から、抜きんで合格、2016年3月に新国立劇場の舞台で歌うことになりました。将来の飛躍が楽しみです。



バリトン 鳥山浩詩

全日本オペラ・ネットワーク運営委員世代交代

全国のオペラ団体をインターネットで繋ぎ、芸術文化の振興に向けて活動を展開して行く上での様々な問題点を、共に考え、共に解決して行こうと、日立シビックセンターの御協力を得て、全日本オペラ・ネットワークが組織されて今年で12年目になります。

NOP NEWS前号でお知らせしましたが、設立以来、十年間、その運営委員長の任に当たったNOP代表の杉が辞任後、世代交代して、オペラ彩代表の和田タカ子さんが委員長になり、札幌室内歌劇場の中津邦仁さん、千葉「風の丘ホール」の大澤ミカさん等の若い世代が力を合わせ、監査役として和歌山市民オペラ協会の多田佳世子さん、顧問格の佐藤克明さん、本杉省三さん、そして杉がバックアップして、全国のオペラ団体が抱える問題点に関するアンケート調査を行い、東京でのフォーラム開催を計画しています。

2016年3月19日 午後1時半から 東京文化会館大会議室

全国オペラ mini フォーラム in Tokyo

「地域オペラの今～2020年にむけて」

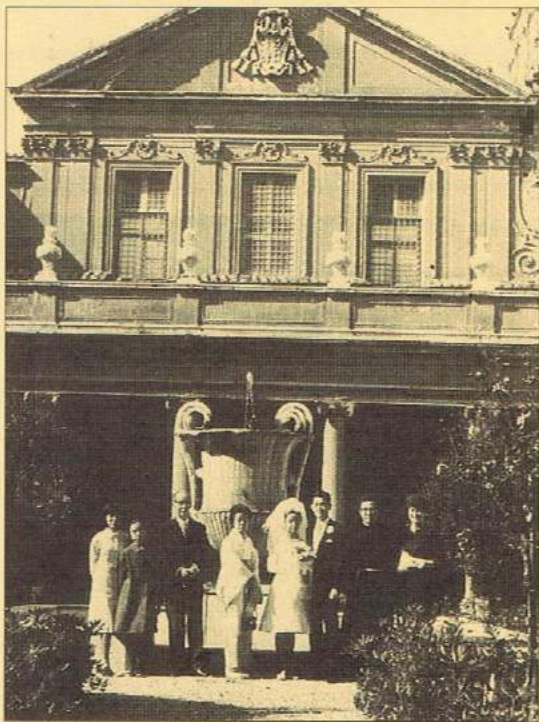
参加費 1000円

問合せ・事務局 (特)オペラ彩 電話・FAX:048-201-3121

悲しいお別れとささやかな慶事

「門松は冥土の旅の一里塚……」今年もお世話になった先人、友人とのお別れがありました。おめでたい、お正月の記事には相応しくありませんが、永い年月に亘り私共の活動を温かい目で見守って下さり、声援を送って下さった戸田敏子さん、谷桃子さん、そして、NHK音楽部で、共に数々の番組作りに力を尽くした先輩の前和男さん、同僚でパレエ界の発展に貢献した藤井修治君、後輩の斎藤茂君、杉浦見君、今更ながら、感謝を込めて生前のお姿を思い出しています。

悲しみの後に、私事ながら、ささやかな慶事のご報告です。昨年10月15日が私共夫婦の結婚50年目に当たる金婚式でした。1965年、父の親友でギリシャ文学の碩学で、当時、ローマにある日本文化会館館長を務めておられた呉茂一さんが手配して下さい、音楽の守護神サンタ・チェチーリア寺院の礼拝堂で結婚式を挙げたのです。二期会にアルバイトに来ていて、歌手の皆さんのリサイタルで譜めくり役をしていた菊池さわを、NHKの「夜のコンサート」という番組の担当ディレクターだった私が、有名なテノールのタリアヴィーニが出演、川口耕平さんがピアノ伴奏した時、その譜めくりを頼んだのが、きっかけでした。結婚22年後にNHKを定年退職、その3年後にニュー・オペラ・プロダクションを設立、それから25年が経ちました。結婚以来、日本のオペラ文化振興の夢を追い続けている私は、ずっと家内のさわには苦勞のかけ通しでした。しかし、感謝しながら、今も図々しく「もう少し辛抱して」と無理を強めています。



サンタ・チェチーリア寺院前で式後、左から3、4人目が呉さんご夫妻、右端は姉、葉子



帰国後、目黒迎賓館での披露宴で



金婚式に四男清高から送られた祝い酒を手に